

やまびこ新製品発表会に 300名が来場

発電装置・溶接機・投光機など一般産業機械の販売を担う、やまびこ産業機械株式会社（広島市安佐南区、勝又美義社長）は6月24日、東京都大田区の東京流通センターで、2014年やまびこグループ新製品発表会を開催した。

新製品発表会では、冒頭、開会挨拶に立った親会社の株式会社やまびこ（東京都青梅市）の永尾慶昭社長は「今年4月から向こう3カ年の新中期経営計画では開発投資、設備投資を積極的に行い、2017年3月期決算で売上高1,200億円、営業利益率7%の達成を目指す」と抱負を述べた。

続いて、新製品の説明が行われた。潤滑油漏れ、燃

料油漏れを予防するオイルガード（皿）付き「可搬形マルチ発電装置DGM 1000 MI」、三相電源と単相3線電源を同時出力できる「防災設備用発電装置PDGM 600」、国土交通省NETIS登録製品である「発電装置兼用溶接機（ガソリンエンジン）EGW 185M-IST」、LPガスを燃料とする「インバータ・ガスエンジン発電装置IEG 2200M-PG」などが紹介された。

会場内に設けられた展示コーナーでは、災害時の停電対策に備えた非常用電源への需要の高まりを反映して、三相（スプリンクラー、消火栓用ポンプなど動力系電源）と単相（パソコン、ATMなど電灯系電源）の負荷に1台で同時出力できる防災設備用マルチ発電装置「PDGM600シリーズ（三相最大出力60kVA/60Hz、単相最大出力36kVA/60Hz）」などの実機展示や係員による実演が行われ、来場者の注目を集めていた。

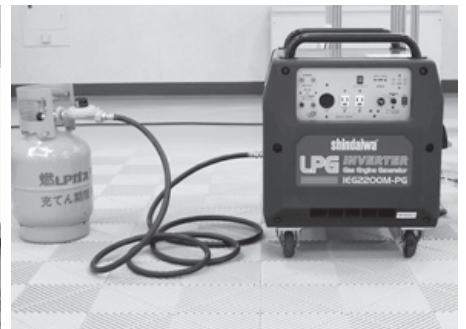
主催者によると、代理店・販売店、建設機械リース・レンタル業界から約300名が来場した。



防災設備用60kVAマルチ発電装置



可搬形100kVAマルチ発電装置



LPガス燃料仕様の可搬形発電装置